

2020年度 サケ学研究会

若手による 研究紹介ナイトセッション

～脂鰭が付いてれば、良いじゃNight～



2020年12月5日 (土) 18:00~20:30

【場所】オンライン開催 (Zoomを使用)

【参加費】無料 (飲食物は各自準備)

【参加登録】2020年度サケ学研究会オンライン特別セミナー
申込フォーム (<https://sss2020webseminar.iimdofree.com/>) より登録

年齢制限なし ※すでに特別セミナーに登録済みの方は、再登録不要です

企画者：飯野佑樹 (東大大海研), 大場理幹 (東大大海研), 黒田充樹 (北大環科院), 八柳 哲 (北大農学院)
連絡先：iino@aori.u-tokyo.ac.jp (飯野) または satokioba@aori.u-tokyo.ac.jp (大場)

目的

全国にいらっしゃる、サケ科魚類（ほか、脂鱸のついた魚類も）に関心のある若手に交流・協力の機会を提供します。

経緯

今年度は、若手にとっての研究発表や交流の場が数多く失われています。そんな今だからこそ、北海道と本州の若手が手を取り合い、サケ学研究ネットワークをより強化していくべきではないかと考え、本企画を立ち上げました。

プログラム

- 18:00~18:15 開会のあいさつ
18:15~18:40 演者①~③の研究紹介
*発表時間は1人あたり7分（発表5分+質疑2分）
18:40~19:10 --- ブレイクタイム① ---（これまでの演者と懇談できます）
*Zoomのブレイクアウトセッション機能を用いて
複数の小部屋を設け、各部屋の若手と懇談できます。
19:10~19:35 演者④~⑥の研究紹介
19:35~20:05 --- ブレイクタイム② ---（これまでの演者と懇談できます）
20:05~20:25 総合討論
20:25~20:30 閉会のあいさつ

演者紹介

- ① 黒田 充樹（北大環科院・D1）
「降海型アメマスの越冬生態」

“さけます”ではないサケ科魚類にも魅力がいっぱい！



- ② 長谷川 稜太（北大環科院・M2）
「イワナに寄生するナガクビムシの宿主への影響と分布規定要因の解明」



サケ学研究会初参加です。宜しくお願いします！

- ③ 大場 理幹（東大大海研 沿岸セ・M2）
「三陸沿岸河川におけるサケの自然産卵」

三陸でサケの自然産卵の研究をしています。当日はよろしくお願いします。



- ④ 立岡 樹（北大環科院・M2）
「オホーツク海におけるサケの鉛直遊泳行動に関する研究」



よろしくお願いします！

- ⑤ 塩谷 一樹（岩手大院 総合科学・M1）
「海面養殖に向けホトラウトサーモンの海水適応能評価法」

現在はニジマスの海水適応能について研究しております。今日はよろしくお願いします。



- ⑥ 八柳 哲（北大農学院・D1）
「環境DNAから回遊魚の謎に迫る：キュウリウオ科を中心に」



脂鱸があればいいと聞いてやってきました、シシャモ(など)の話します！